

■ $X = \mathbb{N}_0 \times \mathbb{N}_0$ 上の二項関係 \sim^R を

$$(n_1, m_1) \sim^R (n_2, m_2) \iff n_1 + m_2 = n_2 + m_1$$

により定義するとき、二項関係 \sim^R は X における同値関係である（証明しなくても良い）。 $(n, m) \in X$ を代表元とする同値類を $[(n, m)]$ と表し、商集合 $\mathbb{Z} = X/\sim^R$ における二項関係 $\leq_{\mathbb{Z}}$ を

$$[(n_1, m_1)] \leq_{\mathbb{Z}} [(n_2, m_2)] \iff n_1 + m_2 \leq_{\mathbb{N}_0} n_2 + m_1$$

により定義するとき、二項関係 $\leq_{\mathbb{Z}}$ は代表元の取り方に依存せずうまく定義できていることを示せ。

(解) $[(n_1, m_1)] \leq_{\mathbb{Z}} [(n_2, m_2)]$, $[(n_1, m_1)] = [(\hat{n}_1, \hat{m}_1)]$, $[(n_2, m_2)] = [(\hat{n}_2, \hat{m}_2)]$ とする。定義より、

$$n_1 + m_2 \leq_{\mathbb{N}_0} n_2 + m_1, \quad n_1 + \hat{m}_1 = \hat{n}_1 + m_1, \quad n_2 + \hat{m}_2 = \hat{n}_2 + m_2$$

であり、さらに、ある $k \in \mathbb{N}_0$ が存在して $n_2 + m_1 = n_1 + m_2 + k$ が成り立つ。

$$\begin{aligned} (n_1 + m_2) + (\hat{n}_2 + \hat{m}_1) &= (n_1 + \hat{m}_1) + (\hat{n}_2 + m_2) = (\hat{n}_1 + m_1) + (n_2 + \hat{m}_2) \\ &= (n_2 + m_1) + (\hat{n}_1 + \hat{m}_2) = (n_1 + m_2) + k + (\hat{n}_1 + \hat{m}_2) \end{aligned}$$

と簡約法則により、 $\hat{n}_2 + \hat{m}_1 = k + (\hat{n}_1 + \hat{m}_2)$ が得られる。 $\leq_{\mathbb{N}_0}$ の定義より $\hat{n}_1 + \hat{m}_2 \leq_{\mathbb{N}_0} \hat{n}_2 + \hat{m}_1$ となり、 $\leq_{\mathbb{Z}}$ の定義より $[(\hat{n}_1, \hat{m}_1)] \leq_{\mathbb{Z}} [(\hat{n}_2, \hat{m}_2)]$ が成り立つ。したがって、二項関係 $\leq_{\mathbb{Z}}$ は代表元の取り方に依存せずうまく定義できている。 ■